

# つるみの風

## 殺戮と憎つみの只中に

最近、歩いて五分の所に新しいスーパーが開店しました。行きつけの理髪店で髪の毛をカットしてもらいながら、近所のお店話に花が咲き、品揃えが今一つの近隣スーパーが話題に出て、もつと近くに別の店が来たらしいですよ、と話していた矢先、まさかの展開に小躍り病身の伴侶を連れて約束通り開店日に出かけました。人ごみに押され、美しく豊富に並べられた品々を眺めつつ、ふとウクライナ、ミャンマー、そしてパレスチナのガザ地区など紛争地域に思いが飛び、浮かれ気分が抑制されて祈り心が芽生えました。日本の政界も目を覆いたくなる有様ですが、今年も平和の君イエス降誕を祝うクリスマスが、どの国どの地域にも分け隔てなく訪れます。鶴見在住の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

つるみの風 第52号  
2023年12月16日発行  
鶴見聖契キリスト教会  
〒230-0074 横浜市  
鶴見区北寺尾 1-16-7  
TEL 045-572-0857



君は、その圧倒的歌唱により、一気に準決勝へと出場が決まるゴールデンブザーを、最も辛口の審査員から獲得したのでした。

### ●ピエ・イエス

ボーイソプラノの彼が歌ったのは、「ピエ・イエズ」(Pie Jesu 慈悲深いイエス)。カトリック教会のミサで歌われるようなラテン語のレクイエム(鎮魂歌)で、プロテスタント教会では馴染みの薄いジャンルなのですが、そうした違いを超えて心に迫るものがあり、自然と涙があふれてくるのです。こんな歌詞です。

**慈悲深いイエス／世の中の罪を取り除くまよ／彼らに安らぎを与えたまえ／神の子羊／世の中の罪を取り除くまよ／彼らに安らぎを与えたまえ／永遠に安らぎを／永遠に**

イギリスのオーデイション番組BGT(ブリテンズ・ゴット・タレント)予選に今年二〇二三年、一二歳の少年が出演したいへんな話題となりました。パソコンやスマホで視聴可能です。

<https://www.youtube.com/watch?v=5n8s5nPFUg&list=WL&index=53&=404s>

この番組はアメリカをはじめ各国で開催されているのですが、採点が厳しいことで有名しかしこの少年マラカイ・パヨ

で初演され、大成功を収めて、彼の代表曲となったとのこと。初演で歌唱したのはかのサラ・ブライトマンで、後に彼と結婚しています。

### ●死者のため祈らずとも

聖書によれば、死者のために祈ったらその死者が天国に行けるようになる、という教理はありません。プロテスタント教会では、生前イエスを罪と死からの救い主として信じ受け入れることをたいせつに考えておられます。では、それがかなわずに世を去った人々はどこへ行くのか、聖書には明確な記述がないのです。ですから、牧師としてそうしたケースの葬儀を頼まれた際、まさにこのピエ・イエズの歌詞のような思いで、「あとは主イエスよ、よろしくお願いします。このたましいをあなたに委ねますから、良きに取り計らってください」と祈ります。イエス自身、十字架に架けられた際の第一声は「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです」(ルカの福音書二三・三四)でした。

実はこの歌、教会から生まれたクラシカルな曲ではなく、「キヤッツ」(オペラ座の怪人)などのミュージカルを作曲したイギリスの作曲家、アンドリュー・ロイド・ウェバーの作品です。彼は一九八二年に亡くなった父への追悼と、カンボジアでの幼児虐殺の写真に心を痛め、畑違いを承知の上でこれを作曲しました。一九八五年にニューヨークの聖トーマス教会

### ●世界の惨状に心痛めて

今年の年末、このピエ・イエズがかくも心に染みるのは、あまりにも理不尽な形で命を失う人々がこの世界に多いから

です。ウクライナやミャンマーはもちろんのこと、一〇月に勃発したイスラエルとハマスの戦闘は、塙に囲まれた狭いガザ地区にひしめく二百万以上の一般市民に、数千発の空爆が降り注ぎ、逃げ場を失った一万人以上が命を落として、その半分近くが子どもだと言う。イスラム教徒だから、アラブ人だから自分には関係ないなどどうして言えましょうか。だから祈ります。イエスさま、何とかしてください、彼らのたましいをそ御手の中に受け止めてください、あとはお任せしますからと。



### ●あの日、ベツレヘム

クリスマスは静かではのぼりと温かく、ごちそうを食べたりプレゼント交換をしたり、嬉しく楽しい雰囲気にあふれています。悲しみやつらさをひととき忘れさせる祝いでもありましょう。それはとてもすばらしく、価値あること。しかしながら、クリスマスに読まれる聖書記事の只中に、目を背けたくなるような幼児虐殺事件も存在します。それは、イエスがベツレヘムの飼い葉桶に生まれてからしばらくして、エルサレムのヘロデ大王に謁見を求めた東方の博士たちの来訪がきっかけでした。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました」(マタイの福音書二・一二)。

### ●理由を問うことを忘れたヨブ

「なぜこんな悲しいことが起こるのか。全能の神がいるなら、そして神が愛だというのなら、なぜこの悲惨を止めないで放置するのか」、このようなことばをよく耳にします。これは「神義論」という呼び名で、長い間キリスト教世界で問われて来た命題。諸説あるのですが、どれもスッキリした答えになっていません。他人事が自分事になつたら、それこそ耐えられないでしょう。何の意味もなく殺された幼子たちや、現代の紛争地域の犠牲者たちは、怒りの矛先をどこへ向けましょうか。これは旧約聖書の「ヨブ記」に登場する義人ヨブの叫びでした。彼は、犯した罪の報いとして苦しみに遭っているのだと主張する友人たちに反発し、自分の正しさを主張し続けるの神が登場し、ヨブが受けた苦悩

の理由をいっさい語らずに神の偉大さを次々と示します。もはやヨブは自分が受けた苦しみ理由を問う余裕もなくひれ伏し、「知識もなしに摂理をおおい隠す者はだれか」との神のことばを受け入れ、「私はあなたのことを耳で聞いていました。しかし今、私の目があなたを見ました」(ヨブ記四二・五)と告白するのです。

「あわれみ深いイエスよ、世の罪を取り除くため十字架につけられたイエスよ、不当な苦しみと死に襲われている人々に、安らぎを与えてください」。今年のクリスマスは、今自分が享受している平安と安全に感謝するとともに、不安と危険に苛まれ、愛する家族を失った方々に思いを馳せる機会としませんか。罪と死、苦しみ悲しみにあふれたこの地上に、特権や栄光をかなぐり捨て、人として生まれただけだったイエスの思いをわが思いとするために。

## <聖書を読む会>

- 開催日：第1、第3土曜日  
変更になる月があります。
- 時間：午後2時～4時
- 場所：寺尾地区センター他

※開催日と場所は下までお問合せ下さい。  
●問合せ先：045-901-9560 村田

